

毎月1回20日発行

(昭和31年3月28日第三種郵便物認可)

# やま博物館

編集責任者 大町山岳博物館

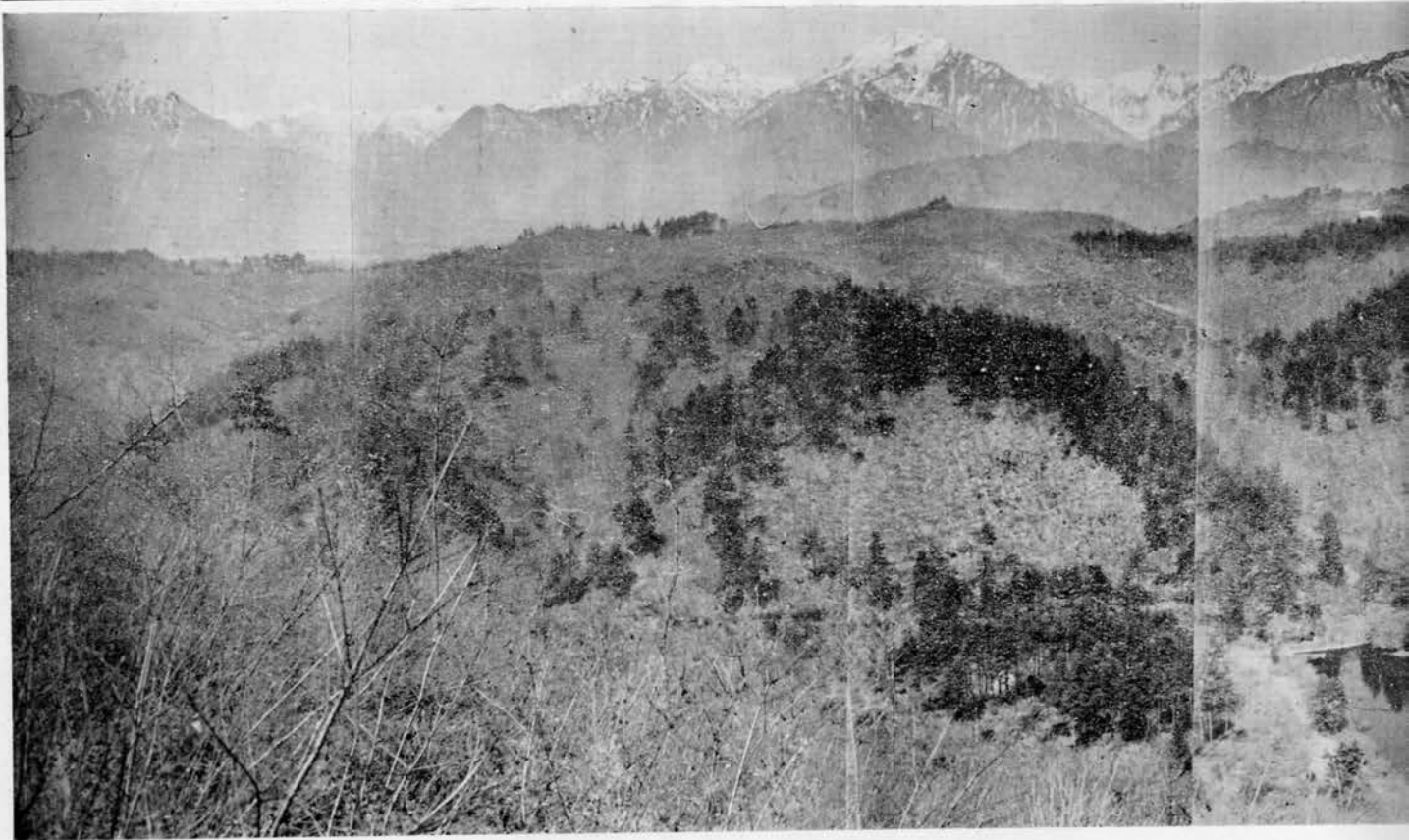


バツヂ (日本山岳会)  
Japan Alpen Club

日本山岳会によるマナスル遠征は、5月9日5年間にわたる苦心の結果遂に成功しました。日本山岳会は明治37年設立され現在4300名の会員を擁しています。バツヂはJACの3字を図案化したものです

NO. 4 1956年5月20日

大町山岳博物館後援会 発行



## 北アルプス総合調査 ——北ア一帯を野外博物館に——

大町市は南は槍ヶ岳、北は鹿島槍を経て五龍岳に至る、北アルプスの主峰を市内にもつ山岳都市です。昔から「岳の町」として知られた大町は、山岳都市としての資質を見えなければならない運命を担っていました。しかしこの山岳都市も案外、山岳とは意識的、無意識的に遊離した現状にあるようです。意識的とは山岳における度重なる遭難を見聞するにより、無意識的とは持っている宝を理解し、開発利用する意欲と力に欠けていることによります。年々オタ人口は増し、社会生活に疲れきった人々は、年に一度や二度は必ずアルプスを訪ねる気風を増しつつあります。この時、科学的な調査のうらづけのもとに、絶対安全な登山指導をし、これによって観光資源としての価値を増すことは、自ら山岳、観光の都市と称する大町市の当然の役割と云わなければならないでしょう。即ち、大町市の総合開発——それは産業、観光等の施策を実施する上の基礎的な学術調査を完成し、その資料の下に、長所をより生かし、長短相補う総合開発——を時勢の進運とにらみ合わせて着々実行に移さなければならないのです。大町山岳博物館が計画した北アルプス総合調査はこのような意義に基いて立案されました。充実した北アルプスの諸資料を速かに収集し、これを保存公開するとともに、北アルプス一帯を野外博物館として開設するためのものでした。

### 北ア調査5ヶ年計画

- 第1次 白馬連峰(朝日岳~白馬岳~鑓ヶ岳)
  - 第2次 鹿島連峰(唐松岳~鹿島槍ヶ岳~蓮華岳)
  - 第3次 鹿島連峰(第2次に同じ)
  - 第4次 常念連峰(銀鬼岳~燕岳~常念岳)
  - 第5次 槍・穂高連峰(槍ヶ岳~焼岳)
- 調査期間 昭和32年~昭和36年  
 予備調査 昭和31年(居谷里湿原)  
 ○昭和31年より後立山連峰を鹿島連峰と呼称する。

## 居 谷 里 の

### 北アへ挑む予備調査

この広大な目的を達するためには、その基礎調査が必要とされます。北ア調査の予備的段階として、こゝに4月から向う一年間、居谷里調査が進められることになったのです。言うまでもなく、北アルプスの調査は全く未開発に等しく、峻険な山岳に伴う危険もあり相当な困難を生ずることは明瞭です。比較的平坦な居谷里地区をモデルにとつたのも、調査関係者をして北アルプスでなさんとする調査技術、並にその能力の養成を図らしめようとしたのに他ありません。

### 郷土愛の振起をはかる

居谷里調査の大きな特質は、社会教育機関としての博物館が、この調査を通じて地域社会の人材の育成と、郷土愛の振起をはかろうとしている点であります。調査に従う研究員は、郷土に生をうけた研究途上にある若い世代、即ち、中央の研究機関、大学に勤務するもの、教職員、大学生、及び高校生、中小生、そして学校を終えて郷土にある一般勤労青少年を動員しています。これら調査に従う第二市民は、この調査の経過を通して高い学術能力をつかみとり、又郷土を知るために郷土に汗して親しんだことにより、本当の郷土愛を身につけることができるのです。

### 調 査 内 容

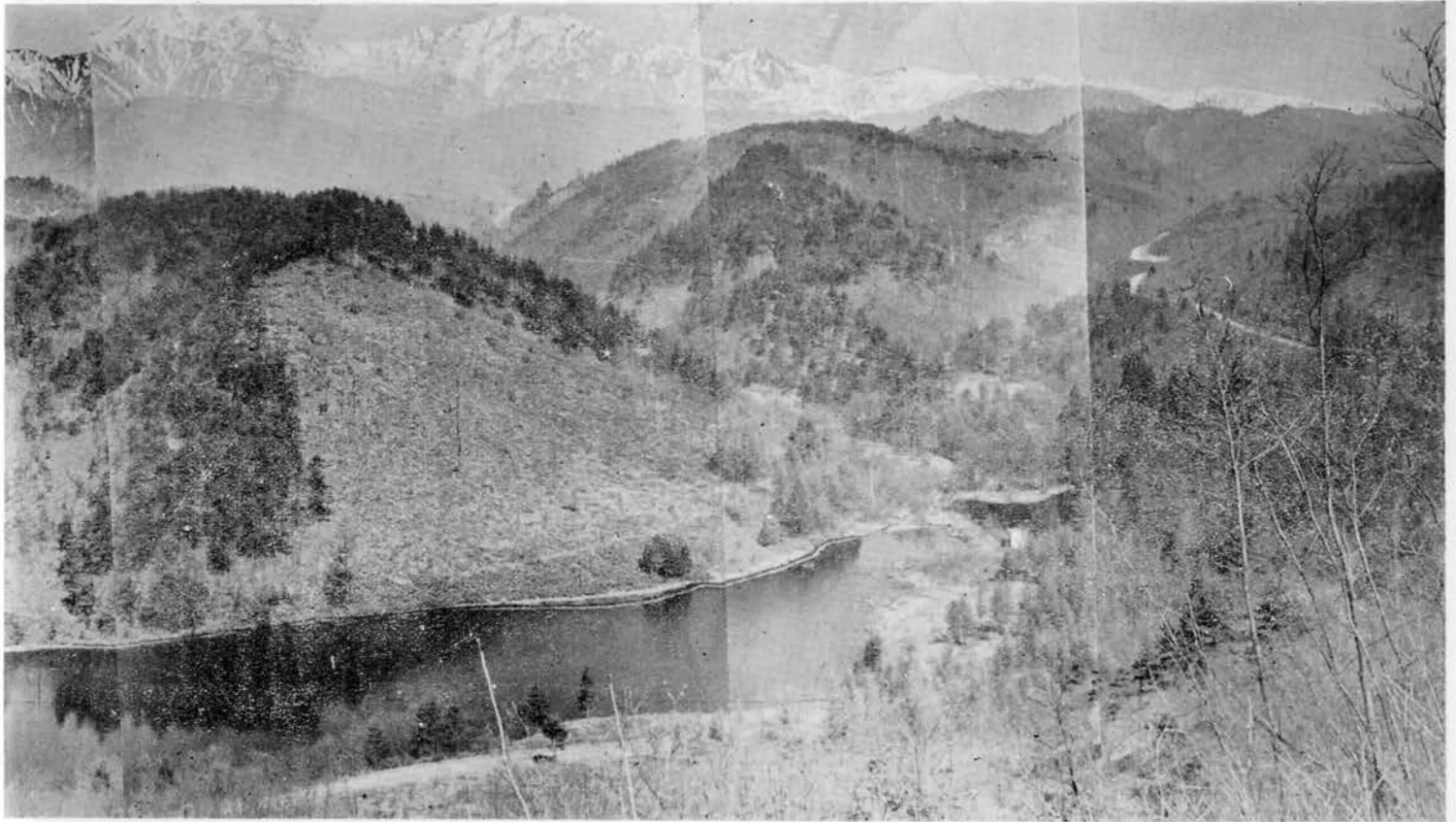
#### 自然科学

地形 測量を行い各方面の研究の基礎資料となる正確で詳しい地図を作る。

地質 居谷里周辺の岩石、火山灰、地層等をしらべその成因、年代等を明らかにする。

水質 湧水・河川・地下水・池沼等の分布及び化学成分の量・酸性その他各種イオンの量・硬度・採水処の水温等を調査する。

土壌 土壌の粒変・容水量・含水量・留水力等の物理的性質及び酸性陽イオン有機物・無機物などの化学的性質を調べ、作物・森林・生物の生態等との関連を考察する。



# 総 合 調 査

**気象** 居谷里地方の気温・湿度・降水量等の年間変化、地温・地下水位湧水量・湧水温・河川流量等の季節的变化、池沼・池中等の温度の垂直的分布及びその変化などを調べる一方、動植物の生態をつかむために森林や湿原の局地気候を調べる。

**動物** 居谷里地方に棲息する一切の動物(哺乳類・鳥類・ハ虫類・魚類甲殻類・軟体動物・両棲類・昆虫類・くも類・ミミズ・ヒル・ワムシ・ブラナリア・ヒドラ・海綿・原生動物等)の種類を明らかにし、そこに分布するに至った経過を考察すると共に、鳥類・昆虫類等の群集生態を究明する。

**植物** 居谷里地区に生育する一切の植物(種子植物・羊歯植物・蘚苔植物・サビ菌・キノコ・藻類等)の種類と分布状況を調べると共に、植物群落について質的・量的・季節的に調査し、居谷里湿原の生成と今後の植生変化を考察する。

**花粉分析** ポーリングによって湿原下の泥土を採取し、その中に埋没している過去の植物の花粉を調べ、湿原の形成過程・植生の歴史的变化・気象の歴史的变化などを考察する。

## 社会科学

**保健** 居谷里水道水と市民の生活との結びつきを重視し、水道水に関して歴史的、地理的、経済的、自然科学的に多方面から研究考察する。

**農業** 農業経営上の居谷里水系と開墾と水利権について調査し、東山山系の總括的農業経営の考察を行う。

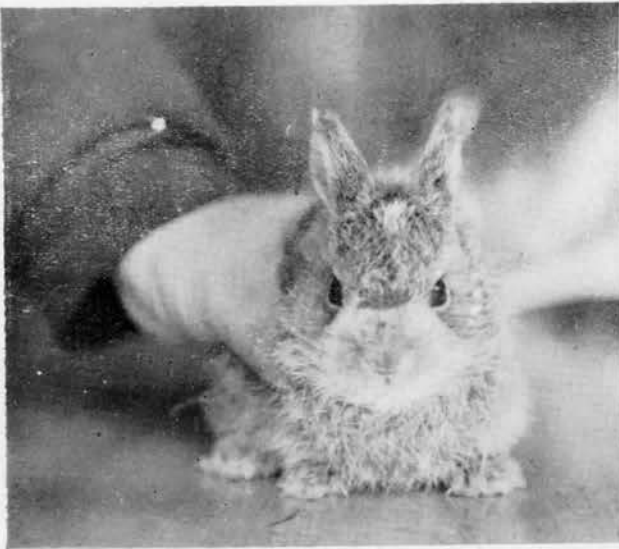
**民俗** 居谷里を中心とした村落に関し、その成立と性格、信仰、慣習(氏神信仰、年中行事、冠婚葬祭)農山水についての争論等を研究考察する。

**その他** 考古、林業等に関しても考察する。

## 調査の担当者

**総指揮** 博物館学芸部(代表者 羽田健三) **地形** 福島寛(山岳部)  
**地質** ①地質 森(大町北高)・太田愛子(電々公社)・太田昌秀(北大) ②花粉分析 塚田松雄(大阪市大) **水質** ①水質分析 宮沢(信大)・牛山真(神城中学) ②雨雪質分析 宮沢 **土壌** 平林和雄(昭電) **気象** ①気温・水温・降水・湿度・地下水位・流量 海川庄一(山博)・伊藤昌次(大町中) ②局地気候 海川 ③雪の物理的性質・雪量 保科(信大) **動物** ①ファウナ 哺乳類 兩角(信大)・魚類・爬虫類・貝類・両棲類 長沢武(山博) 蛾 下条毅(山博) 甲虫類・直シ類 倉田(八坂中) 双シ類・蝶・トンボ・セミ 福島融(山博) 水棲昆虫 三沢慶洋(七二合村小) ブランクトン 上原・横内(信大) ヒドラ・海綿・ワムシ 上原 ブラナリア・原生動物 曾根原(大町南高) ②郡集生態調査 誘蛾灯に集まる昆虫 下条(山博) 蝶・トンボ 福島融(山博) 水棲昆虫 三沢(七二会小) 鳥類 長沢修介・高橋松人(山博) 兩棲類 長沢武(山博) ③ノウサギの分類 兩角(信大) **植物** ①フロラ 種子植物 平林国男(山博)・和田(信大) キノコ 平林昭一郎(山博) 珪藻 北沢卓・丸山晃(山博) 緑藻・紅藻・輪藻 丸山晃(山博) サビ菌 曾根原方教(山博) 羊歯類 中村武久・高橋秀男 蘚苔 手塚映男・平林昭一郎(山博) 雪中ブランクトン 小野(白馬高) 地衣類 手塚映男(山博) ②群落調査 種子植物・羊歯・蘚苔 平林国男・中村武久・丸山晃・手塚映男・海川庄一・高橋秀男(山博)・和田(信大) **保健** 荒井(信大) **農業** 福島政雄(信大) **林業** 宮田哲夫(信大)・巢山第三郎(中土中) **民俗** 勝野彦一(信大)・田中哲明(豊科高) **考古** 篠崎健一郎(広津小) **技術** 降旗良平(山博) **撮影** 千葉彬司(山博) **庶務** 内山慎三(山博) **会計** 小日向けさみ(山博) **器材** 海川(山博) **設営** 高橋秀男・千葉彬司(山博) **連絡** 平林国男(山博) **普及** 古川潔(山博) **協力団体** 大町南高生物部・物象部・山岳部・保健部・社会部・大町北高生物部・地学部・大町市連合青年団・大町市青年学級博物館研究会、博物館後援会

【写真は水源池を中心とした居谷里湿原の展望、遠望は北アルプス連峰、調査範囲はこの水源池を中心に四圍20Kmに及ぶ】



ノウサギは平地の原野や山麓の草地、林中にすみ、日中は眠つていて早朝と夕方するどい歯で樹木を喰いあらすため害獣として、冬期間各地でウサギ狩がおこなわれています。餌付が悪いためほとんど飼われていないが、なれるとカイウサギのような餌で飼育できます

### 後援会員募集

博物館後援会の会員を募集しています。年額千円を納める団体ならびに、年額三百円以上を納める個人を正会員といたします。会員には次のような特典があります。

- 1、博物館の諸指導行事を通知し参加の便をはかる。
- 2、毎月「やまと博物館」を配布する。
- 3、団体には講師、指導者派遣の求めに応じる。
- 4、博物館に支障のない限り、博物館の資料(標本、図書、写真、図板等)器具の借出しをあっせんする。
- 5、その他博物館で種名同定、研究指導など諸種の便宜をうけるをあっせんする。
- 6、いつでも博物館を無料で観覧できる。

【博物館だより】 4月20日関西電力黒部川上流雨量測定に関する計画打合せ 22日居谷里調査打合せ、第3回ウサギ狩(白馬岳山麓) 24日イヌワシ営巣状況調査(長野市近郊) 28日明石製作所明石、斎藤兩氏来館雨量測定打合せ 5月1日居谷里湿原水質調査 3日~8日居谷里調査(動植物) 7日~9日居谷里鳥類生態調査(夜間観察) 12日~13日居谷里調査(地質、気象) 16日~17日自記雨量計取扱講習会(講師明石製作所内田氏) 17日ヒメギフチョウ卵採集(居谷里) 18日博物館学級2回(天体について) 19日大阪府阪急百貨店夏山展覧会に資料展示(50点) 居谷里気象観測(24時間) カモの生態観察(駅前水禽舎)

(今月の寄贈) ホンシウモモンガ生体 松川村宮田福次氏、仔リス生体 4 南小谷村吉沢重忠氏、仔野ウサギ生体 1 常盤区竹村清氏 サンコウチョウ1体 常盤区下条容氏、シロフジ 大町区傘木優氏、キビタキ1体 常盤区下条容氏、ハシブトガラス幼体 大町五日町高橋忠雄氏、ムクドリ1体 常盤区吉本邦男氏

おしらせ 本紙の購読を御希望の方には実費 1部10円でおわけします。但し遠方の方は郵送料の実費をいただきます 大町山岳博物館後援会



リスはキネズミとも言われ、平地から2700m位までの松、杉、樺などの林にすみ、冬は背中毛が灰褐色、夏は赤褐色に変わります。体の小さい活動家で人によくなつきクルミ、リンゴなど喜んで食べています。写真はリスの赤坊が牛乳を飲んでいるところです。

### 会員室

本欄は会員の皆さんに遠慮なく使つていただくために設けました。御希望事項や連絡事項は編集室まで御一報下さる。○…郷土をはなれていると最先浮かんでくるのは北アの間々だ。大町市が観光都市だといっても、観光施設の不備な点が残念。山岳博物館くらいはせめて立派な施設が欲しい。○…関西電力の工事が始ると聞いたが、一時的な施策でなく、今から大町市100年の計をたてること望むや切。博物館の発展を祈る。(東京都廳 傘木 俊介)

「日本アルプスの驚異」という動植物生態映画の撮影が4月から本館の協力で開始されています。撮影に当って下記の件につきみなさんの協力をお願いします。

- ◎市及び郡内でリス、カラス、カケス、その他鳥獣の巣をみつければ、ただちに博物館へ御連絡下さい。
- ◎ウソ、カケス、アトリ等の野鳥を飼育している方や捕獲された方がありましたら御提供下さるよう御願いたします。以上について連絡あるいは提供して下さい方には薄謝を呈します。

編集後記 ▲博物館ではいま、居谷里湿原の総合調査が本格的に行われています。長い間かゝってたてた計画に基づいて毎週土日曜を中心に本館学芸員をはじめ、信大生や一般研究者など大勢の人たちが現地に出勤しています。本号では居谷里調査の概要をお知らせすることにしました。▲4月の末、内山主事が東京の後援会を訪れた際、多くの皆さんから種々激励の言葉をいただきました。居谷里調査、北アルプスの動植物生態映画撮影、関西電力の雨量調査など、今年の博物館は多忙です。各地の後援会の皆さんから寄せられる激励に、関係者一同大いに勇気づけられています。▲日本マナスル登山隊は5月9日、11日の2回にわたり遂に登頂に成功し、世界山岳史に輝く金字塔をうちたてました。本館では18日、日本山岳会あて早速祝電をおくりましたが、本号では心からの喜びを表紙に托すことにしました。

やまと博物館 No.4 1956.5.20発行  
編集発行人 大町山岳博物館  
発行所 大町山岳博物館後援会  
長野県大町市神楽町電話211番  
印刷所 信州印刷株式会社